

彦根西高のPTA・同窓会・後援会が県に要請

意欲のある生徒が育つ学校になっている



9月26日、彦根西高校のPTA・同窓会・後援会は、県知事・教育長・議会議長に対して、「高校再編計画原案に反対し彦根西高校の存続を求める」陳情書と署名を提出しました。陳情書の要旨は以下のようです。

市議会を無視した暴挙

「情報公開議論もないままの突然の(再編案の)発表は、県民の意見と市議会を無視した暴挙である。125年にわたり23,701名の卒業生が学んだ学舎は、市民の生活の一部、大切な財産になっている。」
「再編の理由として、活力ある学校づくりや特色ある学校づくりがあげられているが、彦根西高は、地域との交流を大切に、地元自治会の文化祭への参加、地域の高齢者との交流会、近隣小学校との授業交流などの活動を続けている。」

彦根市内の子どもの数は増加する

「小規模だからこそできる細やかな教育と『学びの共同体』の学習方法で、意欲のある生徒が育つ学校になっていきている。この全国に発信できる実績を途絶えさすことは、彦根のみならず滋賀県の損失である。」
「彦根市内の子どもの数は、今後15年間は減るところか増加することが推定されている。少子化を理由にした再編計画は説得力に欠ける。今回の計画は多くの人の思いに反して到底認めるわけにはいかない。」

教育長は「魅力と活力ある学校をつくる。ご理解をお願いしたい」などと、小さな声で「再編の必要性」を述べました。

これに対して同窓会長はこう述べました。「いつも同じ事をおっしゃるが、全く理解はできない。今日の行動をスタートにして西高

いよいよこの土曜日です!こぞって参加しましょう!

高校の統廃合 10・1 県民のつどいは許さない! 13:00~ Gネットしが大ホール

存続に向けて活動を開始するつもりだ。」

教育長は黙っていました。

教育長は、署名用紙をめくりながら「近所の人も署名しているなあ」。教育長の居住地域の人が沢山署名していたのです。

署名が38,000筆を超える

この日、提出した署名は15,155筆です。

これまで「県立高校の統廃合を考える会」と「湖北の高校を守る会」が集めた署名が約17,000筆、「信楽高校を守る会」が集めた署名が約6,000筆です。合計で38,000筆を超えます。署名が威力を発揮しつつあります。当面50,000筆を集めましょう。

連日駅頭宣伝中! 最寄りの駅に18時から参加ください。

27日(火)彦根駅 28日(水)八幡駅 29日(木)膳所駅・貴生川駅

ストップ高校統廃合速報 2011年度第22号

2011/9/27 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)